

SOUS LE CIEL DE PARIS(パリの空の下)

(J. Drejac)

訳詩 : Junko Higasa(2010.9.8 Wed.)

パリの青空の下では Hum Hum
新しい歌が生まれる
パリの青空の下では Hum Hum
幸せな愛が芽生える

哲学者と 音楽家が
ベルシーの橋の上で謳う
夕暮れに人が集まり Hum Hum
花の都の夢に酔う

パリは ノートルダム
辺りで起こる
涙のドラマ
終わらせる

輝く夏の陽 アコーレデオンの調べ
大空に夢開く

パリの青空の下には Hum Hum
楽しげな河が流れる
世を捨てた人を囲んで Hum Hum
神様の鳥がさえずる

二千年も パリの空は
サン・ルイ島に思いを寄せる
嬉しければ 青く晴れて Hum Hum
悲しければ 雨をまとう
行き過ぎた恋をたしなめ Hum Hum
雷鳴をとどろかせても
仲直りに パリの空は Hum Hum
虹を架けて 許しを乞う